

令和4年6月15日開催の企画研修『課題整理総括表の活用～日常業務実践編～』で行いましたWebアンケートにてご質問をいただきましたので回答いたします。

*質問部分については一部抜粋して掲載しております。

Q1.

認定更新に伴う課題分析の際、すでに現状のサービスである程度改善できていたり、改善が難しい場合、改善維持の可能性の欄に、維持ばかりが並んでしまいます。そんな時でも、ケアマネとして何か改善を模索しマネジメントを進めるべきでしょうか。

A1. (講師回答)

ご質問ありがとうございます。ご質問のように検討した結果「改善が難しい」のであれば「維持」の選択でも良いと思います。しかし、常に改善の可能性について模索することは重要な視点です。「現在」の欄「自立・見守り・一部介助・全介助」に変更がなくても、より一部分でも自分でできる可能性があるのであれば「改善」を選択することになります。その内容については、「見通し」欄に具体的な状態を記載し、多職種で検討することが望ましいとされています。

Q2.

阻害要因の「記載表現」事例集のようなものはありますか。

A2. (講師回答)

ご質問ありがとうございます。インターネット上でも検索してもらおうと様々紹介されていますが、参考図書としては、「日総研出版 課題整理総括表・評価表 活用の実務」著者 齊木 大/松川 竜也の物が良いと思います。齊木氏は開発に関わった方で、松川氏も平成24年度全国モデル事業の時から私も一緒に取組んだメンバーです。

Q3.

講義内でお話されていましたが、評価表についてですが、毎月活用していましたが、先生が仰られた様に、評価月の最終月（短期目標・長期目標・更新時）のみでよろしかったでしょうか。

A3. (講師回答)

ご質問ありがとうございます。講義で説明したとおり、「評価表」は短期目標が終了したもののみ記載することになっています。居宅介護支援においてモニタリングは毎月実施することとされています。時々モニタリング表（シート）として「評価表」を記載されていると

ころを見かけますが、「評価表」の様式ではモニタリングで必要な項目を満たしておりません。モニタリング記録とは別にこの「評価表」も毎月記載されていたのであれば毎月の記載は不要になります。